

## 養育里親の愛称について

応募総数456点のうち、一次選考を通過した35点を掲載

名 称	込められた思い（記載のまま）
はぐくみさん	愛情をもってあたたかく「はぐくみ」をしている養育里親に敬意を込めて、「はぐくみ」＋「さん」とした。
きょう 京ほっとファミリー	たまたま難しい環境に置かれた子どもに「少しでもほっとしててもらいたい」。養育里親になる方々は、そんな思いかと想像しました。
はぐのて	ハグ（抱きしめる）／はぐくむ／手から、ハグするように大切に子どもたちをはぐくむ、安心できる大きな手のような家庭
さぼおや	子どもの成長をサポートする、また親へのサポートでもある。このことからサポートする親という意味を含めました。里親と音も似ていることから覚えやすいものを考えました。
ほっこりさん	安心して、しっかり包んでもらえる。そんな方をやさしい表現で表しました。
ふおすたん	里親という意味のフォスターを、可愛らしく親しみを込めた呼び名です。親ではなく、社会全体で子どもたちを支えられる仕組みの中で、温かみを感じられる家庭のかたちであって欲しい。
コトオヤ	子と親，古都親。京都らしさ，里親が伝わるシンプルな名称にしました。
みやこファミリー	京のイメージとしてふさわしい「都」＋「ファミリー」より。養育里親の愛称を温かさが伝わり優しさが感じられる名称として，親しみやすく命名
ゆいホーム	里親さんと温かい愛の糸を結う思いを込めて
ほっとファミリー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・温かくホットできる家族。それが子どもの願いであろう！</li> <li>・一時でもホッとするホットな（暖かい）家族という意味を込めました。</li> </ul>
とまり木	実の家族の元を一時的に離れる子どもが，頼ることができる場所，安心できる家となってほしい。
ひなた	日の当たる場所。そんな場所を子どもたちは探しているのではないのでしょうか。特に何をしてほしいというわけではなく，ただ温かい。そんな場所が必要なのだと思います。一緒に話して，一緒に笑って，一緒にいるだけで心温まる場所であってほしい。
そだてーる	「育てる」＋子どもたちに「エール」を送るより。養育里親の愛称を親しみやすく命名
HUGファミリー	育むの「はぐ」と，抱きしめるの「ハグ」をかけている。子どもたちが，抱きしめるようにはぐくみ育てられますように。
セカンドファミリー	家族の定義は血縁関係だけが全てではない。「里親制度」が特殊な制度であったり，単に社会貢献や一方的な善行として捉えられるのではなく，引き取り側も子ども達もお互いに心豊かになるよう，カタカナでダイレクトに表現した。
晴れる家！	「養育里親」と聞いた時，何となくネガティブな印象を受けてしまいがち。そうではなく，受け入れる側も，子どもたちも，明るい未来を築いていくイメージの明るいネーミングが良いと思う。周りを取り巻く人たちとも，愛のある関係の中で育てて欲しいという希望も込めた。晴れ渡る青空のような家（里親）という意味。

名 称	込められた思い（記載のまま）
かるがもファミリー	かるがものお母さんは、いつも子どもを見守り、安全なところに導いています。人間の子どももみんな見守られながら成長しなければいけないと思います。
ことファミリー	京都の代名詞である「古都」と、「子（児）と」の両方の意味をかけました。
つむぎ（さん）	子育ては、良いことも大変なことも、たくさんの思い出や絆を『紡いで』いると思います。養育里親として、大変な事、悩み、迷いの日々が続くかもしれません（続きそう。）。そんな毎日の積み重ねを『つむぎ』というフレーズに込められたら良いかと思いました。
ここふぁみ	心でつながるファミリー、愛情の心でつくりあげるファミリーを作り上げられるんだという意味を込めて付けました。親しみやすさを感じてほしくて、軽やかな語感にしました。
あゆみさん	<p>「社会的養育が必要な子ども達の人生をとものにあゆむ、彼らのこれまでの歩み（人生）に深い理解を示し、これからの人生を共に歩んでいく、彼らの実親を含めてあゆんでくれる人材」。</p> <p>以上の意味を込めて、また、市民に親しみやすく、呼びやすい呼び名をと思案しました。生活と育ちを保証するのはもちろんですが、それ以上に、社会的養育が必要に至った子ども達の、今までとこれからの姿をありのまま受け止め、共に歩んでほしいという願いを込めて。里親というものの形が社会的に変化してきている今、”親代わり”ではなく、社会と一体となって子どもを応援していく第一人者として、その役割を担ってほしいという願いを込めて。</p>
京都是ぐ組	ハグと育みと組を掛け合わせました。里親と子の間だけでなく、街全体みんなが組になり、ハグをするように優しく育てていけたらと思いこの名前にしました。
ひなたぼっこ	里親さん（大人）と子どもがほっこりでき、互いが育ち合えることを願い、何気ないことを大切に！の思いを込めています。
オジバ	里親に「親」という文字があるために「子どもをとられる」と感じられる実親さんが委託を拒否されるケースがあると聞くため、「伯父伯母」をもじり、「親」のイメージを薄めることで、委託が好ましいお子さんの委託実現につながれば良いと思いました。
はぐたす	育む+足す（+）＝はぐたす。 育てる、関わる人が増えるという意味、子どもにとってプラス（+）になってほしいという意味を込めました。また、「はぐ」は英語の hug でもあり、抱っこする、ハグするの意味があります。温かい愛情と理解を持って養育してくださる里親さんの活躍を表現しています。
はんなり家族	「はんなり」とは、上品で落ち着きがあり、明るさ、華やかさ、陽気さも併せ持つさまを表す言葉。代表的な京言葉の一つ（辞書より）。まさに里親家庭にピッタリの言葉を選びました。
こもればファミリー	悠久の地・京都で豊かな葉を茂らせた揺るぎない大樹に、里親さんの姿を重ねています。陽の光を柔らかく注ぎ込ませながら、子どもたちが芽吹き育っていくのを慈しむ様子をイメージしました。

名 称	込められた思い（記載のまま）
きょうりょく家族	実の親の方が育てられるようになるまで、又は子どもが社会的に自立できるようになるまでの一定期間を養育する京都市養育里親の愛称ということで、力を合わせて協力して子どもを養育するというメッセージを込めて、「きょうりょく」という言葉に思いを込めました。また、「きょうりょく」は「京」の音を含む言葉であることで、京都の力で子どもを養育するという大きなメッセージも込めて、「きょうりょく家族」という愛称で、温かい愛情と正しい理解を持って養育して下さる「里親」さんの思いが感じられるように、多くの方に親しみを感じていただけるように、力強さと温かさが感じられる親しみやすい名前にしました。
ゆめぼーと	夢の「ゆめ」と、支援＝サポートの「ぼーと」、港の「ぼーと」を組み合わせ、子どもたちの夢をサポートする港をイメージして名付けました。
あいぼーと	愛の「あい」と、支援＝サポートの「ぼーと」、港の「ぼーと」を組み合わせ、温かい愛情を持って子どもたちをサポートする、子どもたちの港のような養育里親をイメージして、名付けました。
TADaiMAM!	次の3つの想いと意味を込めました。 1. 子どもたちが「ただいま！」と帰れる場所が増えること。 2. 養育里親の子どもたちを迎え入れる気持ち。 3. 愛とお母さんの存在。 「TADaiMAM!」が少しでも多くのご家庭に届いて、子どもたちの温かな居場所が増えることを心から願います。
ひだまりファミリー	日だまりのように温かい愛情を持って子どもたちを迎い入れ、養育する養育里親を思い浮かべ、名付けました。
はぐくみサポーターズ	温かな愛情で寄り添い、子供たちが居心地良く過ごせ、健やかに育っていくよう支えてくれるサポーターであることを表しています。
おこしやすホーム	「おこしやす」を漢字で書くと「お越しやす」となる。これは遠方からわざわざ峠などを越えて来てくれた、初めての客に対する“ねぎらいの言葉”だという。虐待を受けた子どもたちをねぎらうあったかい場所になればという思いを込めて。
ことホーム	ことは古都を意味します。日本人の心のふるさとである古都、京都。里子たちにとっても、里親家庭がふるさとになればという思いを込めました。